

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	アフリカ開発会議(TICAD)閣僚会合開催経費		担当部局庁	中東アフリカ局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度		担当課室	アフリカ第二課		課長 齋田 伸一		
会計区分	一般会計		施策名	I-6 アフリカ地域外交				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省組織令第58条及び第62条		関係する計画、 通知等	特になし				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	第四回アフリカ開発会議(TICADIV)で「横浜行動計画」として採択された対アフリカ開発支援策の履行状況をモニターするためのフォローアップ・メカニズムの一環として、閣僚級フォローアップ会合を毎年アフリカ内で開催し、開発パートナーとアフリカ諸国が支援策の実施状況を議論するほか、今後の実施に向けた提言等を行う。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	TICADIVで打ち出された対アフリカ開発支援策の実施状況をレビューするためのTICAD閣僚級フォローアップ会合をアフリカ内で開催する。フォローアップ会合の開催に向けては、TICAD共催者(国連、UNDP、世銀、AU委員会)との事前協議(共催者運営委員会等)を通じて同会合の運営に関する各種意思決定を行うほか、TICADフォローアップ事務局(アフリカ第二課)が各ドナー国・機関より取りまとめた「横浜行動計画」の進捗状況をもとに年次進捗報告(ウェブサイト及びパンフレット形式)を作成し、同会合における議論の基礎資料とする。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予 算 の 状 況	当初予算	—	25	25	33	28	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	—	25	25	33	28	
	執行額		—	0	21			
	執行率(%)		—	0.0%	83.4%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	目標:アフリカ諸国からの閣僚級参加者に対し、TICADIVで公約した我が国アフリカ支援策の進捗状況を報告し、参加者から広く理解を得る。 実績:アフリカ参加国数		成果実績	か国	—	0	42	53
			達成度	%	—	0	79	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	TICAD閣僚級フォローアップ会合を毎年1回アフリカ内で開催する。		活動実績 (当初見込み)	回	—	0	1	—
					—	1	1	1
単位当たり コスト	21 (百万円/1会合)		算出根拠	実績額 会合数 21百万円 ÷ 1回				
平成 23 (単 位: 24 千 円 予 算 内 訳)	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	外部委託(報告書作成)	8,670	3,485	事業の見直し、単価見直し等による減				
	出張旅費	3,636	4,880					
	人件費	4,648	4,598					
	外部委託(会議運営)	7,834	7,163					
	借料及び損料	8,033	8,150					
	その他	282	130					
	計	33,103	28,406					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本件事業は、第四回アフリカ開発会議（TICADⅣ）で「横浜行動計画」として採択された対アフリカ開発支援策の履行状況をモニターするためのフォローアップ・メカニズムの一環として、我が国が国際公約として実施するものであり、共催者やアフリカ諸国、開発パートナーとの様々な調整を経て毎年アフリカ内で閣僚級フォローアップ会合を開催する必要があることから、アフリカ地域に在外公館を有し、国際機関等との緊密なネットワークを有する外務省が実施することが適当である。また、同会合の開催及び年次進捗報告による説明責任確保の姿勢は、アフリカ諸国や開発パートナー等から高く評価されている。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		事業見直し、単価見直し等による減	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減(事業見直し、単価見直し等による減)			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
特になし			

※平成22年度実績を記入

外務省
20.7百万円

在外公館
20.7百万円

【競争性のない随意契約】

A. AICC
8.9百万円

会議開催運営業務, レセプション

【競争性のない随意契約】

B. 特定個人10名
5.0百万円

通訳業務

【競争性のない随意契約】

C. Crane Safaris LTD.
5.2百万円

車両提供(アルーシャ)

【競争性のない随意契約】

D. Japan Tanzania Tours LTD.
0.7百万円

車両提供(タリス・サラム)

【競争性のない随意契約】

E. Agro Vision Ltd.
0.8百万円

無線機提供業務

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費目と使途の双方 で実情が分かるように記載)	A. AICC			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	外部委託	会議開催運営業務, レセプション	9			
	計		9	計		0
	B. 特定個人			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	通訳費(特定個人10名)	5			
	計		5	計		0
	C. Crane Safaris LTD.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	借料及び損料	車両借上	5			
	計		5	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. AICC

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	AICC	会議開催運営業務, レセプション	8.9		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 特定個人

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定個人A	日仏同時通訳	1.4		
2	特定個人B	日仏同時通訳	1.4		
3	特定個人C	日英同時通訳	1.1		
4	特定個人D	日英同時通訳	0.6		
5	特定個人E	英仏通訳	0.1		
6	特定個人F	英仏通訳	0.1		
7	特定個人G	英仏通訳	0.1		
8	特定個人H	英仏通訳	0.1		
9	特定個人I	日英通訳	0		
10	特定個人J	日英通訳	0		

C. Crane Safaris LTD.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	Crane Safaris LTD.	車両提供業務	5.2		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D. Japan Tanzania Tours LTD.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	Japan Tanzania Tours LTD.	車両提供業務	0.7		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E. Agro Vision Ltd.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	Agro Vision Ltd.	無線機提供業務	0.8		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					